

■9月は「ロータリーの友月間」です。＜前号より続き＞

表紙が2つに

最初、横書きでスタートした『ロータリーの友』ですが、その後、俳壇、歌壇など、横組みでは具合の悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになりました。1972（昭和47）年1月号から、縦書き、横書きを分けて、それぞれに表紙をつけました。左に開けると横書き、右に開くと縦書きという形の雑誌になりました。

両面が表紙になった最初の号の表紙は陣羽織で、横書きは前から見たところ、縦書きは後ろから見たところ、というように、両面表紙の特徴を生かした面白いものになっています。



1972年1月号(縦組みと横組みが分かれた最初の号)

国際ロータリー公式地域雑誌に1977年、標準ロータリークラブ定款第10条（現14条）の改定に伴い、公式地域雑誌（現ロータリー地域雑誌）の規定が設けられました。これにより、ロータリアンは、国際ロータリー（R I）の機関誌『The Rotarian』だけでなく、R Iが指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことができるようになりました。『ロータリーの友』は、1979年7月号から1年間の試験期間を経て、1980年7月号からR I公式地域雑誌になりました。公式地域雑誌の要件はいろいろと定められており、また、時代とともに多少変化をしています。カラフルに、ビジュアルに2003年1月に創刊50周年を迎えるに当たり、これまでの良い伝統は継続しながら、新しい50年のスタートにふさわしい新鮮な『ロータリーの友』にするにはどのようにすればいいのか、2001年秋から検討に入り、2002年7月号から誌面を一新しました。「ロータリー地域雑誌」の要件の一つに『The Rotarian』から指定された記事を掲載しなければならないという項目があります。写真を郵送していた頃には同時掲載は不可能でしたが、IT技術の進歩に伴い、2004年1月号からは、これらの指定記事が『The Rotarian』と同じ月に掲載できるようになりました。記事についても、毎年度見直し、新しいコーナーを設ける一方で、古いコーナーを中止したりしています。2004年11月号からは、毎月一人ずつのロータリアンを紹介する「風紋」がスタートしました。外部の記者とカメラマンによる取材記事は、それまでになかったことで、ロータリアンやロータリーを客観的に見た記事によって、あらためてロータリーの良さを知る機会にもなっています。その後、クラブを紹介する「手に手 クラブ探訪」、ロータリアンを職業の面から紹介する「この人 この仕事」、「わがまち……そしてロータリー」、「クラブを訪ねて」と、少しずつ形を変えながら、このシリーズは続いています。また、パズル（「パズル de ロータリー」）や本の紹介（「私の一冊」）のコーナーを設け、より親しんでもらえるよう工夫をしています。＜『友』のあゆみより抜萃＞

# 週 報

THE MAGIC OF ROTARY

ロータリーのマジック

ステファニー A. アーチック

2024-25年度 国際ロータリー会長

第2933号



NAHA  
Rotary  
那覇ロータリークラブ

令和6年  
9月17日  
2024年  
SEP

## 第3057回例会報告 例会記録・予定

### 出席報告

会 員 数	63名
出 席 免 除 会 員	2名
出 席 計 算 会 員	61名
出 席 会 員	28名
欠 席 会 員	33名
出 席 率	45.90%

欠席会員名 名嘉、上原義、中村聡、新垣豊、長山、与儀、平良、鈴木康、新里、長嶺、保田盛、許田、国吉、下石、宜保、白石、与那覇、上原修、新垣竜、米須、赤嶺、堀川、下地、佐久本、義元、喜納、宮里、新垣直、桂原、山内、小島、久見瀬、湊辺。

ゲスト・スピーカー 東 優悟 氏（ウクライナ難民支援施設友好の家 代表兼大学講師）

ゲスト 東 俊騎 氏・東 さつき 氏（ゲストスピーカー東優悟氏ご両親）

☆プログラム 9月24日（火）

「地域の救急医療を守る友愛 ER・ドクターカーの取り組み ～沖縄の救急医療の現状を踏まえて～」  
社会医療法人友愛会友愛医療センター 救急科部長

山内 素直 氏

社会医療法人友愛会法人事務局企画部次長

和田 将央 氏

10月1日（火）「那覇RC・浦添RC 合同例会」

於：パシフィックホテル沖縄2階「万座の間」

「コストコホールセールジャパンの歩み、地域貢献について」

コストコホールセールジャパン 日本法人社長

ケン・テリオ 氏

10月8日（火）「米山月間に因んで 奨学生卓話」

コ・イホウ 君（台湾：沖縄国際大学）

10月15日（火）→10/13（日）10:00～14:00

「ポリオ根絶募金活動へ振替」

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1（パシフィックホテル沖縄1階）TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス [naha-rc@ml.cosmos.ne.jp](mailto:naha-rc@ml.cosmos.ne.jp) HP アドレス：<http://naha-rc.org/>

会長 伊志嶺 匡 副会長/クラブ管理運営委員長/会長エレクト 津嘉山 伸 副会長/クラブカウンセラー 安里 政晃  
幹事 安里 繁信 クラブ会報委員長 与那覇 正明 副委員長 下地 浩之 委員 宜保 文雄

## ■ニコニコ BOX (\*^^)v

### 三反園 修 会員

7月の誕生日のプレゼント、本日頂きました。ありがとうございますニコニコ。

**新垣 竜也 会員** 7月の誕生日プレゼントありがとうございます。今年もロータリー頑張ります。ニコニコ。

**鈴木 順一 会員** 誕生日プレゼント、ありがとうございます。8月は欠席が多く、申し訳ございませんでした。ニコニコ。

## ■2024-25年度 ニコニコ BOX

本日のニコニコ BOX	¥10,000
累計	¥98,000

## ■幹事報告 安里 繁信 幹事

### \*他クラブ例会変更

#### ・宜野湾 RC・名護 RC 合同例会

9/25 (水) 18:30 点鐘

場所：ゆがふいんおきなわ3階

### \*ロータリークラブ日本酒部第4回イベント 開催のご案内

日時：11月6日(水) 17:00 受付開始

17:30 懇親交流会 18:30 日本酒解説/お食事

場所：セルリアンタワー東急ホテル B2F ボールルーム (東京都渋谷区桜丘町26-1)

会費：20,000円

講師：あおい有紀(和酒コーディネーター/酒サムライ)

テーマは『北海道!』北海道の食材を使用した福田順彦総料理長の特別料理と北海道の日本酒のペアリングを講師の解説付きでお楽しみ頂きます。(着席buffet)

締切：10/23(水) \*会費は事前振込みで開催3日前からのキャンセルは会費100%ご負担となります。振込先：みずほ銀行・荻窪支店(普通) No.4182140

ロータリークラブ  
日本酒部 部長 吉田雅俊

**\*よねやまだよりNo.294が届きました。**

回覧致します。ホームページでもご覧いただけます。

## ■会長報告

伊志嶺 匡 会長

\*本日の卓話はポーランドからZOOMで行います。東優悟様後ほどよろしくお願い致します。また本日は東様のご両親にもお出で頂いております。ありがとうございます。

\*10/13(日) 10:00~14:00「ポリオ根絶募金活動」を那覇高校インターアクター、ローターアクターと共に行います。場所は調整中です。詳細につきましては松島社会奉仕委員長からご案内致しますので募金活動へのご協力よろしくお願い致します。

## ■2023-2024年度皆出席者23名(敬称略)

### ❀皆出席おめでとうございます❀

42年 親泊 一郎

36年 亀川 榮一

29年 鈴木 康友

28年 新本 博司

15年 新垣 淑典

11年 名嘉 義明

10年 安里 政晃

8年 松島 寛和・津嘉山 伸

7年 當間 卓・金城 智誉

6年 山城 博美

4年 亀川 偉作・宮里 洋介

3年 比嘉 孝明・伊志嶺 匡

2年 米須 義明・河井 耕治・赤岩 勇二

1年 保田盛 清士・石嶺 一・

小島 亮太・河端 巧

\*出席することはロータリアンにとって、クラブにとって大変重要なことです。標準ロータリークラブ定款によれば、会員は**例会時間の少なくとも60%に出席**すれば、その例会に出席したと認められます。例会に欠席した場合には他クラブ例会に出席または定款が規定する複数の方法でメークアップするべきと定められています。

## ■9月は基本的教育と識字率向上月間です。「メキシコの村により良い教育の場を」

1989年にメキシコの海岸の町、ナヤリットに引っ越したマリアナ・デイさん。

その時に気が付いたのは、地域の学校がいずれも、運営に苦勞して、子どもたちは8年生(日本の教育制度の中学2年生)が終わると、ほとんどが進学をあきらめていたことでした。デイさんは、授業料、制服、文具、通学費などを提供する奨学金制度を立ち上げ、その後、ナヤリットにあるロータリークラブに入会しました。ナヤリットではまた、米国とメキシコのロータリークラブが2003年以来、奨学金、図書室、校舎の修復を提供して、子どもたちの教育を支援しています。これらの支援は、地域に明らかに長期的な影響を与えています。「奨学金に加え、ロータリーが学校を支援することで、地域の教育環境と、教育に対する意識が向上した」と、デイさんは言います。

カロリナ・ゴンザレスさんはその恩恵を受けた人の一人です。

デイさんが立ち上げた奨学金制度のおかげで高校に進学し、現在、修士課程に在籍しています。また、地元のロータリークラブへの入会も果たしました。

「ロータリーがこのように地域で教育を支援し、生徒たちが人生に希望を持てるようにしていくことで、世界を変えられる と思います」。

ゴンザレスさんのクラブは、バークレー・ロータリークラブ(米国カリフォルニア州)やほかの北米のクラブとともに、2003年以来、メキシコで複数の教育・識字プロジェクトに取り組んできました。これまでで最大のプロジェクトは、ラスベラスの村で実施された1カ月間の学校改修プロジェクトで、資金はグローバル補助金のほかに、6地区の25のロータリークラブが資金を寄せ合って調達しました。

学校の教員、生徒、保護者を含めた90人のボランティアが、コンピューター室、実習用キッチン、化学実験室を改修したほか、電子機器や機材を寄贈しました。これらの設備は地元の人びとも利用できるようになっています。

ゴンザレスさんのクラブ仲間であるエドワルド・ドミンゲズさんは、このプロジェクトの最大の影響は、地域の子どもたちが大学へ進学する可能性が広がったことだと述べます。「メキシコには大きな可能性を秘めた青少年がたくさんいます。

彼らがその可能性を実現し、将来地域社会に貢献する機会を与えているのが、ロータリアンです」 記事: Daniela Garcia <国際ロータリー: リソース9月「基本的教育と識字率向上月間」より>